

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 9 月 12 日 (2013.9.12)

【公開番号】特開 2011-49541 (P2011-49541A)

【公開日】平成 23 年 3 月 10 日 (2011.3.10)

【年通号数】公開・登録公報 2011-010

【出願番号】特願 2010-168275 (P2010-168275)

【国際特許分類】

H 0 5 K 7/14 (2006.01)

H 0 5 K 1/02 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 7/14 K

H 0 5 K 1/02 D

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 7 月 26 日 (2013.7.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スイッチが実装されたフレキシブル基板と、
前記フレキシブル基板における前記スイッチの実装面とは反対の面に対向して配置された補強板と、

第 1 の面を有し、前記第 1 の面が、前記補強板における、前記フレキシブル基板に対向する面とは反対の面に対向して配置されたスペーサと、

前記スペーサにおける、前記第 1 の面とは反対の面である第 2 の面に対向して配置されたメイン基板と、

を備えることを特徴とする電子装置。

【請求項 2】

前記フレキシブル基板と、前記補強板と、前記スペーサとが 1 つのユニットとして形成された、ことを特徴とする請求項 1 に記載の電子装置。

【請求項 3】

前記スペーサは位置決め部を備え、

前記補強板と前記フレキシブル基板は、前記位置決め部によって前記スペーサに対して位置決めされる、

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子装置。

【請求項 4】

前記スペーサは固定部を備え、

前記補強板と前記フレキシブル基板は、前記固定部によって前記スペーサに固定される、ことを特徴とする請求項 2 に記載の電子装置。

【請求項 5】

前記フレキシブル基板は延伸部を有し、前記延伸部は他の基板に接続される、ことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載の電子装置。

【請求項 6】

前記他の基板に電子装置のぶれを検出するジャイロセンサーが搭載された、ことを特徴とする請求項 5 に記載の電子装置。

【請求項 7】

前記フレキシブル基板は延伸部を有し、前記延伸部に電子装置のぶれを検出するジャイロセンサーが実装された、ことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載の電子装置。

【請求項 8】

前記スイッチは、可動部の位置により状態が切り替わる可動スイッチであって、
前記スペーサは、前記可動部を案内する手段を有する、
ことを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれかに記載の電子装置。

【請求項 9】

前記スペーサは、樹脂で形成されている、ことを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれかに記載の電子装置。